

平成 24 年 1 月 20 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 24 年 1 月 20 日 (金曜日)

午後 4 時 00 分から午後 5 時 00 分まで

2 場 所 堤岡中学校 図書室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和

委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 大滝 靖 子育て支援部長 矢沢 康子

教育総務課長 若月 和浩 教育施設課長補佐 山口 克彦

学務課長 武樋 正隆 学校教育課長 小野田信子

子ども家庭課長 佐藤 正高 保育課長補佐 大野 宏

中央公民館長 鈴木 昇 中央図書館長補佐 廣田 恭子

科学博物館長 山屋 茂人 学校教育課主幹兼管理指導主事 関谷 祐二

学校教育課主幹兼管理指導主事 大矢 慎一

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 栗林 洋子 教育総務課庶務係長 新沢 達史

教育総務課庶務係 平澤 司

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2		議席の指定
3	第1号	長岡市公民館条例施行規則の一部改正について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会1月定例会を開会する。

日程第1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第44条第2項の規定により、羽賀委員及び加藤委員を指名する。

日程第2 議席の指定

(大橋委員長) 日程第2 議席の指定を行う。先月の定例会において私が委員長に選任され、1月5日から新たな任期が始まったため、改めて議席の指定を行う。議席の指定については、会議規則第7条の規定により、委員長が指定することになっているため、ただいまの席のとおり指定する。

日程第3 議案第1号 長岡市公民館条例施行規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第3 議案第1号 長岡市公民館条例施行規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(鈴木中央公民館長) 長岡市公民館条例施行規則の一部改正について説明する。現行では、第2条において、夜間の使用がない場合の開館時間を午後5時までにする
と規定しているが、この規定を削除する。次に、第3条において、現行では長岡市

小国公民館の休館日を12月29日から翌年の1月3日までと規定しているが、これを12月28日から翌年の1月4日までに改正する。最後に、第9条において、現行では、長岡市公民館運営審議会に委員長及び副委員長各1人を置くことと規定しているが、これを委員長1人及び副委員長2人を置くことに改正する。改正理由は、小国地域総合センターへ小国公民館が移転することによる「長岡市公民館条例」の一部改正に伴い、公民館の開館時間及び休館日について所要の改正を行う必要があるためである。また、公民館運営審議会委員は社会教育委員を兼務しているが、公民館運営審議会では副委員長1人、社会教育委員は副委員長が2人と、それぞれ副委員長の定数が異なっており、副委員長の定数を2人に合わせるため、所要の改正を行うものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) 小国地域総合センターとは、どのような特性の建物か。

(鈴木中央公民館長) 公民館機能の他に、シルバー人材センターが入っていたり、図書室、調理室、会議室などの貸し館も行っている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。12月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局から説明を求める。

(大滝教育部長) 平成23年12月議会の教育委員会関係一般質問について説明する。まず、丸山議員から、互いに競い合う中で強い心を養う教育が必要と考えるがどうか、「熱中！感動！夢づくり教育」により生まれる人間像とは何かとの質問があった。1つ目の質問に対し、強い心だけでなく豊かな心を養うことが重要であり、最後まで諦めずに競い合う心が大事であると答弁した。2つ目の質問に対し、長岡

市教育委員会が掲げる3つの人間像について答弁した。次に古川原議員から、市内には国・県・市指定の文化財がそれぞれ何件あるか、市指定に限り11地域ごとの文化財の件数はどのくらいか、個人所有の文化財の保存管理について、市としてどう対応しているか、屋外設置の文化財及びその標柱や説明板の管理について、一層の予算措置のもと、管理保存に努めるべきだと思うとの質問があった。1つ目の質問に対し、国指定16件、県指定31件、市指定253件であると答弁した。2つ目の質問に対し、一番多い寺泊地域で53件、一番少ない山古志地域で5件など、それぞれの地域について答弁した。3つ目の質問に対し、個人所有の文化財は、所有者が大切に保存管理することになっており、それに対し、教育委員会では適切な助言、指導を行っている。また、経年劣化に対して経費の50%以内の補助を実施していると答弁した。4つ目の質問に対し、経年劣化を防ぐための処置を適切に行っている旨答弁した。次に高見議員から、「ともしび運動」の普及を推進しているが、住民への普及啓発の取り組み状況についてと、学校における福祉教育の現状と今後の方向性について質問があった。福祉読本を小学校3年生全員に配布して活用していること、全ての学校が福祉施設等への訪問を行っていること、中学校では、福祉施設主催の宿泊体験への参加を積極的に促していることなどを答弁した。次に笠井議員から、原発関連の質問として、長岡市で食品の放射能測定器及び学校給食の放射能測定器を購入すべきと思うとの質問があった。学校給食の食材検査は県が検査機器を地域振興局に配備し、希望する市町村が食材を持ち込んで検査できる体制を整備したため、長岡市として、これを活用すると答弁した。

(矢沢子育て支援部長) 次に杉本議員から、長岡のへき地保育園について、現状と課題、今後の方向性についてと、保育時間の延長について質問があった。現在、長岡市内では、4地域でへき地保育園を運営している。いずれの園も概ね10人前後の園児数である。ここ数年で急激に人数が減っている。へき地保育園は地域内の3、4、5歳児のみを対象とし、運営時間が短いなど、いろいろなしばりがある関係で保育料が安く設定されている。今後は地域の状況を見ながら、極端に園児が少なくなるようであれば方向性について検討していきたいと答弁した。また、保育時間の延長について、農繁期などには可能な限り園で対応していると答弁した。

(大滝教育部長) 続いて、市が実施してきた学校の放射線測定について質問があっ

た。市内全域をカバーできるように 13 箇所で 8 月から定期的に測定している。また、9 月から 10 月にかけて、市内小中学校、保育園、幼稚園の 185 箇所で測定を行い、その結果 2 箇所で、市の土壌除去基準を超える放射線量が測定されたため、即日、除染作業を実施したと答弁した。次に文教福祉委員会での質問事項である。

(矢沢子育て支援部長) 藤井議員から、青少年文化センターに関し、プラネタリウムを始めとして、どのような事業を展開しているのか、プラネタリウム施設の特色を活かし、宇宙に関するものを取り入れるなどコンセプトをもっとはっきりさせた方が良いのではとの質問があった。ご意見を尊重しながら運営していくと答弁した。

(大滝教育部長) 続いて、平成 22 年度の平和フォーラムについて、中学生が参加していたが、どのような形で参加していたか。また、講演で従軍慰安婦が取り上げられたと聞いているが、子どもたちに誤った内容が伝わっていないか。平成 9 年の国会答弁で従軍慰安婦の事実はなかったと言っているが、教育委員会としてどう考えるか質問があった。このことについて、中学生 27 人がフォーラムに参加しており、講演中、講師は「従軍慰安婦」という言葉を使っていなかった。また、教育委員会として、従軍慰安婦について平成 9 年の国会答弁で取り上げられたことは承知しており、文部科学省が示す学習指導要領に基づき、戦争や平和に関する学習が適切に行われるよう指導していくと答弁した。次に、山田議員から、文化財の保管状況について、中越地震による博物館収蔵資料の被災状況と現状について、また、市が所蔵する埋蔵文化財の総量と保管状況について質問があった。この質問に対し、博物館収蔵資料の内、重要文化財 17 点を含む 123 点が被災したこと。それから、コンテナケース 11,863 箱分の埋蔵文化財を、市内のいくつかの施設に分散して保管していると答弁した。この答弁を受け、山田議員より、文化財は 1 箇所にまとめた方が良いのではないかと質問があったため、管理及び調査研究のため、そして市民から見てもらう上で、1 箇所にまとめた方が望ましいと答弁した。次に、佐藤議員から、学力向上について質問があった。全国学力テストにおける新潟県と長岡市の学力の状況はどうかとの質問に対し、新潟県は全国平均と同程度又は若干低い状況であり、長岡市は全国平均と同程度又は若干高い状況にあると答弁した。2 つ目に、橋本大阪市長が学力テストの公開などの教育改革による競争原理について意見を述べているが、どのように考えるかとの質問に対し、そのような話を耳にして

いるが、長岡市としては学力を広く捉え、やる気や学ぶ意欲、好奇心を高めることを目的としており、好影響を与えていると答弁した。3つ目に、学力テストで好結果を示している秋田県の学力向上施策をどう見ているかとの質問に対し、県を挙げて学力テストの結果向上に努めており、成果を挙げていると答弁した。4つ目に、義務教育段階から大学進学の意味等を子どもたちの意識に植えつける施策が必要と思うかどうかとの質問に対し、各学校において、自らの生き方を考えていく中で、大学進学の意味を指導しており、長岡市としてもキャリア教育に力を入れていると答弁した。次に、桑原議員から、学校のトイレの洋式便器設置割合と、今後、洋式便器の割合を高める必要があるかどうか質問があった。現在 30%が洋式便器であり、全国調査の結果から、子どもは洋式便器を望む傾向があるため、改築等の際に、洋式便器を増やすつもりであると答弁した。

(矢沢子育て支援部長) 続いて、長岡市における発達障害児等の支援について質問があった。このことについて、平成 20 年度から保育課にすこやか応援チームを置き、保育士、児童指導員、保健師がチームを組んで保育園や幼稚園を巡回し、現場の保育士や保護者にアドバイスを行うなどの支援をしている。

(大滝教育部長) 次に、松井議員から、根立遺跡のクルミの木について、過去の経緯も含め、今後どのように対応するつもりなのか質問があった。質問の補足説明をすると、このクルミは昭和 47 年に遺跡から発掘され、その翌年に発芽をしたため、古代のクルミが蘇ったと話題になった。当時、長岡市科学博物館がクルミの破片を炭素測定したところ、3,700 年前のクルミであるという結果が出たが、その後、実際に発芽したクルミの破片ではなかったことが判明したため、発芽したクルミの年代測定を再度実施したところ、現代のものであるという結果が出た。このことを受け、昭和 50 年の長岡市議会において、当時の日浦助役が、十分な調査を行わずに長岡市科学博物館が古代クルミであると発表したことは、遺憾であると答弁している。その後、昭和 51 年に考古学ジャーナルという雑誌で、慶應義塾大学の教授が炭素測定の問題点について述べており、4,000 年から 5,000 年経過したものでも、その植物が死滅しない限り、現代のものであるという結果が出ることは当然であり、古代のクルミであっても不思議ではないという反論をしている。このことを受け、旧三島町は昭和 62 年に町の文化財に指定しており、合併により、現在は長岡市の

文化財として指定されている。松井議員は、このような経過を承知しているか心配して質問したとのことであり、判然としない部分はあるが、今後も市の文化財として取り扱うということで良いかとの質問であった。このことについて、このクルミの木は地域住民から親しまれており、文化財として住民から親しまれることは一つの重要な要素である。今後も調査、研究していきたいと答弁した。続いて、図書館の駐車場について、体育館と駐車場を共有している中央図書館、南地域図書館、中之島地域図書館の駐車スペースは利用者数に見合っているのかとの質問があった。中央図書館は通常の利用日は足りているが、講堂等でイベントがあると不足する場合がある。また、冬期間は除雪した堆雪により満車になりやすい。南地域図書館と中之島地域図書館は図書館利用だけであれば足りていると答弁した。2つ目に、体育館等で行事があった場合など、現在、図書館利用者に支障は出ているか質問があった。中央図書館では、市民体育館で全国大会やプロ大会が開催される場合には、支障をきたす場合がある。南地域図書館や中之島地域図書館では、体育館や文化センターで行事がある時は支障をきたす場合があると答弁した。3つ目に、中央図書館と中之島地域図書館は、いずれも正面周辺にスペースがあるため、駐車場を拡充する考えはあるか質問があった。中央図書館については、現在の状況を踏まえ、空きスペースでの駐車場整備をいずれ行いたい。中之島地域図書館は所管が市民協働部であるため、答弁できかねると答弁した。

(矢沢子育て支援部長) 次に、中村議員から、予防接種について、集団接種と個別接種に関する質問があった。このことについて、長岡市では、国が推奨している個別接種を行っていくと答弁した。2つ目に、行政措置により今年度3月末まで無料で接種できる、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンの接種状況について質問があった。既に対象者の9割が接種済みであり、国が無料期間を1年間延長させたことに伴い、長岡市でも対応したいと考えていると答弁した。3つ目に、ポリオワクチンの接種状況について質問があったため、対象者の接種は進んでいると答弁した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(中村委員) 桑原議員が質問した学校トイレの洋式化に関する意見である。市有施設を利用した時に感じたことであるが、和式と洋式は個人の好みのものである

ため、無理に洋式化する必要はないのではないか。

(大滝教育部長) 完全な洋式化を目指しているわけではないため、適切に対応していきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成 24 年度全国学力・学習状況調査への参加について、事務局から説明を求める。

(関谷学校教育課主幹兼管理指導主事) 平成 24 年度全国学力・学習状況調査への参加については、方針に変更がないため報告事項とさせてもらう。文部科学省が調査対象として抽出した学校は、調査対象学年の全児童生徒を対象として抽出調査を行うこととする。調査対象は小学校 6 年生と中学校 3 年生である。抽出状況は小学校 15 校、中学校 14 校であり、その内、小学校 3 校と中学校 8 校は今年度も調査対象となっている。また、市として抽出調査と同一の問題の提供を受けることとするため、抽出調査の対象外の学校についても、利用を希望する学校については、参加を認めることとする。なお、平成 24 年度から理科が新規に出題されることとなる。国語、算数、数学では「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」に分かれているが、理科については一体的に出題される。調査期日は平成 24 年 4 月 17 日である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成 23 年度第 2 回熱中！感動！夢づくり教育推進会議実施報告について、事務局から説明を求める。

(小野田学校教育課長) 平成 23 年 11 月 2 日に、平成 23 年度第 2 回熱中！感動！夢づくり教育推進会議を開催した。第 2 回の会議は例年 2 月から 3 月に開催しているが、会議の意見を予算に反映させるために、今年度は予算要求前の開催とした。意見を反映させる部分については既に予算要求を行っている。内容については、資料に記載のとおりである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 羽賀委員と青柳委員も参加している会議であるが、本会議のメンバ

ーは何人か。

(小野田学校教育課長) 10人である。

(大橋委員長) 任期は何年か。

(小野田学校教育課長) 2年間である。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、子育て支援講座NP(Nobody's Perfect)プログラムの実施について、事務局から説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 本プログラムを、子ども家庭課子ども家庭センターが主体となり、2月から3月にかけて2会場で実施する。会場は、子育ての駅ながおか市民防災センターぐんぐんと越路保健センターである。NPプログラムはカナダ生まれの親支援プログラムであり、日本では約10年前から実施されている。子育てに不安のある保護者が集まり、ファシリテーターと一緒に自分に合った子育ての方法を見つけるものである。ファシリテーターとは、知識を教える専門家ではなく、保護者と対等の立場で一緒により良い方法を考える方のことである。各会場とも先着10名までを対象として、全6回の講座となっている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(青柳委員) 阪之上コミュニティセンターで、今回ファシリテーターとなるNPO法人子ども虐待防止ネット・にいがたの認定ファシリテーター2名から参加してもらい、テストケースとして既に1度実施している。その結果として、全6回の講座を受けた親に良い影響が見られた。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。次に、平成23年度第2回長岡市栃尾美術館協議会報告について、事務局から説明を求める。

(廣田中央図書館長補佐) 平成23年度第2回長岡市栃尾美術館協議会を平成23年12月19日に開催した。会議内容は、報告事項が平成23年度前期事業報告と平成24年度事業計画(案)、協議事項が栃尾美術館のPRの現状と課題についてであった。委員より、平成23年度前期事業報告に関連し、「どうぶつ家族」の観覧数5,520人

という数字は一般的に企画展の数字としてどうなのかと質問があった。このことについて、栃尾美術館としてはかなり良い数字である。PRに力を入れたことと、昨年万代島美術館で開催されたねこ展が相乗効果となって集客につながったと思われると回答した。また、平成24年度事業計画(案)に関し、アオーレのオープンを記念してイベントを行うことは可能かとの質問があった。このことについて、与板出身の画家3人の作品展を6月ごろにアオーレで開催する計画があるため、栃尾美術館の資料も一緒に展示したいと考えていると回答した。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に宮内中学校、吉乃川常蔵、堤岡中学校を訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 宮内中学校は防災の拠点として動線が工夫されている。また、大変給食がおいしかった。吉乃川常蔵は古い建物であり、昔ながらのガラスが使われているなど珍しいものがあった。堤岡中学校はライオンズクエストに取り組んでおり、子どもが緊張することなくとても楽しそうだったことが印象的だった。大人になってから社会で活かせる内容であると思う。

(青柳委員) 宮内中学校は大変良い校舎であった。他県からも視察が来るのではないと思うが、その分、対応する先生方は忙しくなると思う。体育館の天井に校章がデザインされていたのがおもしろかった。吉乃川常蔵には、今ではなかなかないような珍しいものがあった。堤岡中学校で行われているライオンズクエストは、先生が研修を受けて実施しているとのこと。生徒も先生も活発に取り組んでいた。この取り組みの効果を生徒はすぐに感じないかもしれないが、きっと何年か後になって実感することと思う。

(羽賀委員) 宮内中学校の校舎は市民協働条例にマッチしていて、大変良くできている。市民協働の1つのモデルとなる建物である。吉乃川常蔵は、建物よりも、常

蔵ができたバックボーンが大変興味深かった。堤岡中学校の取り組みは評価したい。現代の子どもたちは、自分より前に発言した人と同じ意見であるとか、わからないと回答することが多い。そのような現状を解消するような、大変長岡らしい教育であると思う。

(大橋委員長) 宮内中学校は採光が良く、コンパクトに良くまとまっている。動線も良く、防災の拠点として素晴らしい。防災と教育をつなげるモデル校として、視察が多くなるのではないかと思う。吉乃川常蔵は、歴史を感じられる場所として、地域の自慢になる所だと思う。堤岡中学校は全職員が本気になってライオンズクエストに取り組んでいる。今後も是非継続してほしい事業である。

(加藤教育長) 宮内中学校の建設は合格点である。堤岡中学校ではライオンズクエストの取り組みの全てを見る時間がなかったが、是非通して見てみたい。このような授業を行っていればNPプログラムなど本来必要ない。校長以下、教職員のがんばりは素晴らしい。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員